

放課後等デイサービス オンライン砺波C 支援理念

①デジタル環境 ②コミュニケーション能力の育成 ③社会性の育成

支援方針

①学習支援

宿題をする他、デジタル機器を使って各種学習アプリに取り組むことにより基礎学力の向上を目指します。
プログラミングを通して将来につながる技能の習得を目指します。
(令和7年8月プログラミング能力検定 合格率78%)

②ゲームを活用した教育

デジタルゲームを活用して、他の子どもたちとともに楽しみながら、デジタル機器の操作に習熟し、同時に話す、聞く、理解するなどのコミュニケーションスキルを身に付けることができる環境を提供します。

③社会スキルの向上

グループ活動や協力ゲームを通じて、他者との交流や協力の大切さを学びます。

作成年月日 令和8年1月13日

営業時間 平日:10時～18時
土曜・祝日:8時30分～15時00分
長期休暇:8時～17時00分

送迎実施の有無:有

健康状態



〈健康・生活〉

- ・心身の健康状態を把握する(来所時の検温と体調の確認。)
- ・構造化等により生活環境を整える(視覚的に分かりやすい方法を用いることにより、決まったスケジュールに沿って規則正しく過ごせるようになる。)



心身機能・構造

活動

参加

〈運動・感覚〉

- ・感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応(明確に区切られた空間で過ごしてもらうことにより、周囲が気になる児童が落ち着いて学習したり、読書したり、楽しく遊んだりすることができるようになる。)
- ・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上(HIIT運動、スポンジボールバドミントン、マイクラフト等。)

〈認知・行動〉

- ・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成(施設で取り組むべき課題(宿題やプログラミング、学習アプリ等)を決め、それに取り組んでから楽しい活動をするように環境調整をすることにより、見通しをもって順番に活動できるようになる。また時間が来たら好きなことでも区切りをつけることができるようになる。SSTとしてプログラミング、ゲームイベント。視覚スケジュールの活用。DOJO、ダンジョンズドリルズ、算数忍者・国語海賊等の学習アプリの活用。イントロ・ドン。)

〈言語・コミュニケーション〉

- ・受容言語と表出言語の支援(相手を嫌な気持ちにさせたら謝れるようになる。相手の気持ちに配慮して反対意見を言ったり、注意したりできるようになる。)
- ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得(テーマに沿って自分の意見や考えを述べられるようになる。マイクラフトの通信プレイ、将棋・オセロ・各種カードゲーム等の対戦型遊具の活用。)

〈人間関係・社会性〉

- ・自己の理解とコントロールのための支援(自分の気持ちを切り替えるための方法を実行できるようになる。気持ちの温度計の活用。)
- ・集団への参加の支援(与えられた自分の役割に責任を持ち、遂行することができるようになる。係活動(運動係、ホワイトボード係、タブレット予約係、おやつ係)への参加。はじまりの会への参加。各種カードゲームへの参加。)

個人因子



〈体験・経験(行事等)〉

- ・土曜日および祝日のプログラミング教室、ゲームイベント。
- ・長期休暇期間の外出企画(博物館、図書館等を含む)、公園遊び、買い物体験。

環境因子



〈家族支援〉

- ・LINEを活用した日々の児童の様子や活動の報告
- ・学校や家庭への送迎
- ・子育ての困りごとへの相談援助(LINEでのやり取りや面談等)
- ・子育てや障がいに関する情報提供
- ・ゲームイベントへの保護者・兄弟姉妹の参加受け入れ

〈職員の質向上への取り組み〉

- ・県・市主催のキャリアアップ研修、専門研修、課題別研修への職員の派遣
- ・虐待防止・身体拘束適正化等の研修への職員の派遣や内部研修
- ・防災訓練の定期的な実施
- ・資格取得研修への職員の派遣 等

〈移行支援〉

- ・インクルージョンを推進
- ・不登校児童の受け入れ



〈地域支援・連携〉

- ・学校との間での情報共有や調整、支援方法や環境調整の相談
- ・相談支援事業所との支援の連携
- ・基幹支援センターや他の事業所との連携
- ・防災を含めた地域住民や関係機関との連携
- ・行事協力や見学の受け入れ等地域住民との交流

